

科目名	総合実習 4							年度	2025
英語科目名	General Practice 4							学期	2
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	二村 美里		教員の実務経験	有	実務経験の職種	インテリアデザイナー			
<p>【科目の目的】 今まで身に着けた力を、実際に企業との課題を通して発揮することを目的とする。 学校内の課題に比べ、よりデザイン業界のリアルな体験をすることで、今後の進路検討の参考に役立てる。</p>									
<p>【科目の概要】 今までは学校内の課題を通して、デザイナーに必要な基礎力や、店舗や住宅などにおける専門的な力、それらを表現するための技術力やプレゼン力などを身につけてきました。今回の授業では、それらの力を総合的に発揮し、実際の企業と協力して、よりリアルなデザイン業界の体験をしましょう。今回の経験は、今後の進路検討の参考となるとと思います。</p>									
<p>【到達目標】</p> <p>A. 5W1Hを意識し、魅力的に活かしたデザインが出来る B. お店や商品のコンセプトを理解し、商品を魅力的に活かすインテリアデザインが出来る C. デザインをスケッチや試作を通して検証、改良出来る D. 図面や模型、ボードなどの仕上がりが美しく魅力的な提案に見える E. 作品内容を相手に分かりやすく魅力的に伝えられる</p>									
<p>【授業の注意点】 各課題の提出日やプレゼン日に欠席した場合は本来の評価から減点となるため、注意が必要。 また、以下の場合は落第とするため、注意が必要。 ・出席率75%以下。(全15回の授業のうち、3回以上の欠席を指す。) ・最終授業までに1つでも未提出物がある場合。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	5W1Hを意識し、魅力的に活かしたデザインが出来る		5W1Hを意識したデザインが出来る		誰が何のために使う空間か意識せずデザインする				
到達目標 B	お店や商品のコンセプトを理解し、商品を魅力的に活かすインテリアデザインが出来る		お店や商品のコンセプトを理解し、商品を活かすインテリアデザインが出来る		お店や商品のコンセプトを理解せず、商品を活かすデザインをしない				
到達目標 C	デザインをスケッチや試作を通して検証、改良出来る		デザインをスケッチや試作を通して計画できる		デザインをスケッチや試作をせず、いきなり作り始める				
到達目標 D	図面や模型、ボードなどの仕上がりが美しく魅力的な提案に見える		図面や模型、ボードなどの仕上がりが丁寧である		図面や模型、ボードなどの仕上がりが汚い				
到達目標 E	作品内容を相手に分かりやすく魅力的に伝えられる		作品内容を相手に分かりやすく伝えられる		何を言いたいのか聞き手に伝わらない。				

【教科書】 無し。							
【参考資料】 随時クラスルームへアップします。							
【成績の評価方法・評価基準】 締切日までの提出物とプレゼンで評価。評価基準はルーブリック評価に基づく。 出席率や授業態度も評価の対象とする。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		総合実習 4				年度	2025
英語表記		General Practice 4				学期	2
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
			1	2			
1	課題説明	・課題の理解 ・調査	1	課題の説明	課題の主旨やスケジュールを理解する	2	2
			2	お店や商品に対しての理解を深める	決めたお店や商品のコンセプトやターゲット層などを調べて、理解を深める。		
2	理解を深める	到達目標Bの達成	1	お店や商品の検討	企業や店舗のコンセプトやターゲット層などを調べて、理解を深める。	2	2
3	5W1Hからデザインを考える	到達目標Aの達成	1	5W1Hを考える	5W1Hを意識し、魅力的に活かしたデザインを計画出来る	2	2
4	デザイン案出し	到達目標Cの達成	1	商品を活かすデザインを考える	デザインをスケッチや試作を通して検証、改良出来る	2	2
5							
6							
7	プレゼンボード作成	到達目標Dの達成	1	<ul style="list-style-type: none"> ・図面作成 ・CGパース作成 ・文章、ボードレイアウト 	図面や模型、ボードなどの仕上がりが美しく魅力的な提案に見える	2	2
8							
9							
10							
11							

12	模型作成	到達目標Dの達成	1	模型の作成	図面や模型、ボードなどの仕上がりが美しく魅力的な提案に見える	2	2
13							
14							
15	プレゼン	到達目標Eの達成	1	クラス全員のプレゼンを行う	作品内容を相手に分かりやすく魅力的に伝えられる	2	2
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							